

「テレビは箱庭、演技は仮面、  
グラビアは天命です」

「まずは全部みせて、カメラマンの撮りたいモノに従つて、そこから感情をひっぱつて行く感じです。自分が考えたり自分で演出した内容が男性の心に響くかといったら、たぶんちがうと思います。女性が創ったものは女性が創るカタゴリーから抜けられないから。男性に対しても強く響くものは男性にしか創れないですよ」

「ともども男女はお互いに理解できないものだともおっしゃっていますね。『絶対理解できないですね。深く付き合つたら理解できる部分もあるかもしけませんが、女性同士だつてそんなに分か

ビアは別格なんですね。『グラビアはそこだけ切り抜いて考  
ると、限りある生の中で本当に限りある瞬のことですから。自分の肉体が生  
ている時間は、とても短く、はかない  
のです。だから大事にしたいんですね』  
壇蜜さんが漂わせているはかな  
や、危うげな魅力というのはその辺か  
きてているのでしょうか。

「そうでしょうね。執着してないん  
と思います。ただ今この瞬間の自分の  
をずっと生きているだけなので。なん  
もう、いつもきらきらしていいとい  
た感情はないですね」

# 「文壇デビューで 可能性 を証明したい」

将来、こんな仕事をしたいといった  
具体的なイメージはありますか。  
「そうですね。しいていえば文壇の仕  
事でしょうか。とうてい受け入れてもら  
えないと思いますが、芸能人がちょっとと  
小説を出してその後、文壇で生きながら  
えたというようなことは少ないと思いま  
す。だから今後、コラムなどの連載を地  
道に続けて行つて、文壇の人たちに一目  
置いてもらえるような存在になりたいと  
思っています。そのためには、長い時間  
をかけても悔いはないと思っています」  
そういうえば以前雑誌のインタビュー  
で「ご自身の行きつく先は文化人か、火  
あぶり」という話をされていましたね。

女性にも人気ですね。なぜだと思われますか。

「うれしい誤算ですね。幸せそうじゃないからでしょうか。本当に幸せな人が本当に不幸な人じゃないと女性はあこがれないと思いますから。はつきりとした偶像のようシンボライズされてないとか、崇拝しにくいでしょう」

壇蜜さんが仕事をする上でいつも心がけていることはありますか。

「他人の悪口を言わないことです。プライベートでも企画の仕事でも絶対に断ります。次の仕事がなくなつても人から恨まれるほうがよっぽど怖い。生きている人間ほど怖いものはないですから」

## 【KATSU春季号 読者プレゼント】

壇蜜さんのサイン色紙、サイン本を  
各1人にプレゼントします

各1人にプレゼントします。  
①希望の品②〒住所③氏名④年齢⑤  
電話番号⑥職業⑦本紙面の感想⑧今後  
取り上げてほしい企画 を記載し、下  
記電子メールアドレス「KATSUブ  
レゼント係」宛てにご応募ください。  
(締め切り5月31日)

当選は発送をもって代えさせていただきます。ご記入いただいた情報は、日刊工業新聞社が細心の注意を払って取り扱います。

katsu@media.nikkan.co.jp

# 壇蜜さん インタビュー

A black and white studio portrait of actress Tamae. She is wearing a strapless, knee-length dress with a dense, abstract floral or paisley print. The dress has a zipper detail on the left side. She is standing with her back against a plain, light-colored wall, holding onto a vertical pole with both hands. Her long, dark hair is styled in loose waves. The lighting is soft, creating a professional and elegant look.

「趣味や仕事に  
打ち込む姿は  
色あせない」

壇蜜さんの生き方や仕事への姿勢も魅力を感じている人が多いと思いますが。

「どんな仕事に対してもネガティック感情はあまり持つていません。出会いの仕事に対しては前向きに、それを書いていこう、取り組もうという気持ちになりますから。とりあえず取り組みて、受け入れてみて、そして自分につかつたらそれはきついという評価をせばいいと思います。最初からネガティブに捉えてはいけない気がします」

読者であるビジネスパーソンにてメッセージはありますか。

「まず皆さんがどんなことでお悩なっているとか、どんな仕事をされているのか、もう少し聞いてからお話ししたいです。父親もサラリーマンで、離れて暮らしているのでどんな会社という大きな組織に属する人たる人生觀とは、どういうものなのか知りたいですね。どういう仕事に取り組んでいますか。そういう時に喜びを感じたり辛いと困った興味があります」

分からぬ世界ですか。

「ただ、私は仕事については、誰かれども、こういう仕事をしていくことで簡潔に答えられる人のほうがすくと思います。自分がやっていることの組んでいることを離れた目線でできる人に魅力を感じます。趣向をこしろ、仕事にしろ男性がはまつて熱